

114
A 4230



經費増額之儀ニ付上申
 本邦大學生ノ設ケルニ日尚少ク
 其ノ学科亦々人主必用セザルニテラズ
 又其ノ高尙ノ度ニ至ルニ至ルハ且
 本校ニ於テ此等ノモノ之ヲ實試ス
 ルノ便ニ之キヲ以テ該校卒業ノ生徒
 テシテ海外ニ派遣スル更ニ實地ニ就テ
 其ノ專門ノ最良高専ノ學生ヲ養成
 セシメザルヲ得ズ蓋シ學生ノ現狀
 ヲ觀スルニ方今ノ要務ハカテ大學生ニ
 對シテ本校中ニ修業シテ欠ノ学科ヲ
 設ケ漸次高尙ノ度ニ至キ各生校

大正十一年四月
 隈正侯爵邸寄贈



ラシテ十分ニ其學ヲ通シ海ニ入ルヲ得セ
シトモ海外ニ生シテ其數及ヒ其年限ヲ
減縮シテ遂ニ人王ク之ヲ廢スルニ在リ
此目的ヲ以テ從事シ生徒ノ卒業業
セシ者ヲシテ教員ノ間若干ノ資ヲ
給シ其後未ダ學子ノ者ヲ實際ニ
就テ研究ニ勵ム者著書譯
述等ニ從事セシムルニ由ル
語ヲ以テ大學生ノ清科ノ教授スルヲ
得ルニ至ラン也大學ノ清部中
所欠ノ必要ナル學科ノ設四道ニ
且見多言等ノ度ニ在リセシムルニハ教
師ノ給料及ヒ書寫積蓄器械等ニ至

ルマテ之ヲ辦スルニ巨額ノ資金ヲ要ス
依テ其中ニ就テ最モ必要ナルモノヲ
ケシテ其額ヲ算スルニ拾萬圓餘ヲ
要ス然ルニ本省ノ限ノ經費ヲ以テ無
限ノ費用ニ供スル能ハザルヲ以テ大
小學ノ事ニ其後急シ先後ヲ測リ皆東
各地方小學校ニ補助ニ充ツベキ額
中ニ就テ八萬圓餘ヲ以テ之ニ充テ
尚ニ萬圓餘ノ不足ヲ生ス固ヨリ省
中法取ノ事ハ痛ク節儉ヲナスト雖
物價ノ騰貴ニ由リテ其額等アルガ
為ニ他ニ支出スベキ目途無クシテ未
十三年度ヨリ金三萬圓ヲ本省ノ經費

中ニ増額を成る様致した後然ルトモハ
前文所陳ノ目的ヲ以テ漸次着手ニ
致ト存候抑目下此等ノ額ヲ要
スト雖他年秋大工ノ諸科最高
等ノ工價ニ達スルヲ得バ亦是レ全ク
外為工生ヲ養育具外國ニ於テ工
賃スルノ要也ガレテ至ラシク日得
如可ニ固キニ待辦所ナリ若夫
施設方法ニ精細ニ取調スル者
ニ致スル前文ノ如ク由テ同中
業ニ於テ裁可スル様致度此
旨ニ請申也

文部卿河野敏鎌

太政大臣三條實美殿



文
音
律